

Rohm Music Friends[♯]

ローム ミュージック フレンズ

2018.3 | No.6

—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—



ピエール=オーギュスト=ルノワール「ピアノを弾く若い女性」1875年-1876年
Woman at the Piano. 1875-1876.
提供:iberfoto/アフロ



ローム ミュージック ファンデーションは
音楽を通して
豊かな文化をつくることを
目指しています。



Rohm Music Friends

No.6
2018.3

目次

- p03 活躍する奨学生 インタビュー
- p07 ローム ミュージック フェスティバル2017
- p13 2017年度 奨学生のご紹介
- p15 2016年度奨学生 報告会
2017年度奨学生 認定式
ローム ミュージック ファンデーション
スカラシップ コンサートVol.13~15
- p19 京都・国際音楽学生フェスティバル2017
- p21 音楽セミナー2017(管楽器クラス)
- p23 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXV
- p25 ローム クラシック スペシャル
日本フィル エデュケーション・プログラム
小学生からのクラシック・コンサート2017

ローム クラシック スペシャル
日本フィル 夏休みコンサート2017

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室
- p26 ローム ミュージック フレンズからのお便り
- p33 ロームシアター京都
- p37 奨学生一覧



活躍する 奨学生 インタビュー

VOL.6

Eriko Iso

磯 絵里子 [ヴァイオリン]

1996年セミナー受講生
2000年度奨学生

給付時の在籍学校:ブリュッセル王立音楽院



©Yoshinori Kurosawa



Profile

桐朋学園大学卒業後、その才能を高く評価したI. オイストラフ氏に招かれ、ブリュッセル王立音楽院へ留学。修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクールほか国内外のコンクールで入賞。宮崎国際音楽祭への参加、テレビ・ラジオ出演も多く、現在FMヨコハマ「磯絵里子のSEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務める。ソロ活動の他、デュオ・プリマやアンサンブル(ファイ)など多彩な演奏活動を展開。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり「気負いのないしなやかな活動ぶりが、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。洗足学園音楽大学講師。

【オフィシャルHP】 <http://www.34-net.com/eriko>

国内外で活躍されているヴァイオリニストの磯絵里子さん。音楽との出会いから奨学生時代、現在の活動までいろいろなお話を伺ってきました。

—よくご自宅にお客様を招いて手料理を振舞われていると伺いました。お料理がお得意なのですね。

料理は気分転換にもなるので好きです。母が料理好きなので、留学でそれまでの実家暮らしから一人暮らしになったときも、自炊はすんなりとできました。私が居たベルギーはとてもグルメな国で、どのレストランに入っても失敗がなく、「人口に対する三ツ星レストランの数が多い場所」だと聞いたこともあります。食は私にとって生きがいです!

音楽と料理も通じるところがあると思います。演奏家は、自分で音楽をつくるのではなく楽譜を読み込んで表現する「再現芸術」で、料理人はどちらかという、作曲家に近い、自分で創造して完成形に持っていくという感じでしょうか。

どちらも完成したものをお客様楽しんでいただき、そこに喜びを感じるという点は近いと思います。

—ヴァイオリンを始めたきっかけは?

覚えていないのですが、4歳のときに自分からやりたいと言いついたそうです。そのころ、関東から長野に引っ越し、長野は子どもの才能教育が盛んなので、ちょうど良かったのだと思います。

私の従妹に、同じくローム ミュージック ファンデーションの奨学生であったヴァイオリニストの神谷未穂と、彼女の姉でヴァイオリニストの神谷未夏がいます。未夏は9歳上、未穂とは1歳違いで、

姉妹のように育ちました。未夏が先に習い始めていたのでその影響もありました。

両親は音楽が好きではありませんでしたが、クラシック音楽というより



4歳から習い始めた
ヴァイオリンの発表会にて

は年代的にフォークなどの方が好きだったと思います。ヴァイオリンを習わせてくれたのも、子どもがやりたいと言うのなら情操教育のひとつとしてさせてあげよう、くらいの感覚だったのでしょう。

当時の習い事は、初めは3歳に始めたバレエで、その後ピアノ、ヴァイオリン、合唱団、少し大きくなってから水泳、絵画教室なども通いました。私はバレエも楽しく踊っていたのですが、始めてすぐに「この子にはバレエの才能がない」と母が気付いたようで、次第にフェードアウトしていきました。今でも憧れはあります。

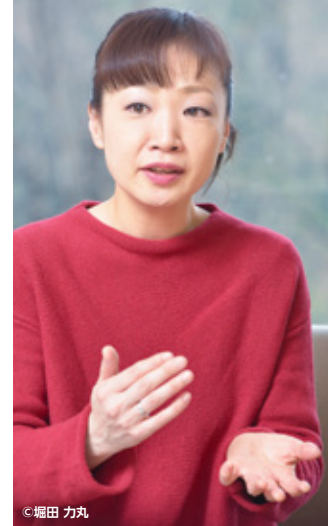
そのなかでも、小さいながらにヴァイオリンは一生をとものにしようと思っていました。子どもの体の大きさに合わせた分数ヴァイオリンがあるので、いつも手のうちに入るおもちゃというイメージで、愛情をかけやすかったのだと思います。

小学校低学年のときには、従姉の未夏が既に桐朋女子高等学校音楽科に入学していて、「自由に楽しそうな学校だな、私もここに入りたい!」と自然と考えていました。

—1996年にはローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー(弦楽器クラス)に参加されましたね。

春に鬼怒川、夏にスイス プロネーで開催された音楽セミナーに参加しました。この音楽セミナーを通してヨーロッパの風土を知って、留学への憧れも強くなりました。

また、このときヴァイオリニストの宗倫匡先生に指導していただき、ベルギーへ留学した後も、ロンドンまで先生のレッスンを受けに行ったりしました。



©堀田 力丸



長野県上田市にてオISTRAフ先生とのコンサート終演後



留学中にフレミッシュラジオオーケストラ(現・ブルジュセルフィルハーモニック)と王立音楽院ホールにて共演

— その後、ブリュッセル王立音楽院に進学されました。学校を選ばれた理由は？

イーゴリ・オISTRAフ先生が教鞭を執られていたためです。

昔から、ヴァイオリニストのダヴィッド・オISTRAフ氏が大好きで、そのご子息で生き写しのようなイーゴリ先生のレッスンを最初は東京で受けました。実際に弾いて示すレッスンをされる方で、その音があまりにも美しく、最初のレッスンで放心状態になりました。

ただ、そのころまだ先生は学校で教えられていませんでしたので、連絡先のみ交換しました。1年後に先生から「ブリュッセル王立音楽院で教えることになったから来ないか」とお手紙をいただき、「これは行くしかない!」と、ベルギーがどこにあるかも知らない状態で急ぎよ留学を決めました。当時、イーゴリ先生は演奏活動も積極的に行われているなか、週に2回はレッスンをしてくださいました。

行ってみるとブリュッセルはとても住みやすい街でした。食がおいしいというポイントが高いですし、良い意味でこじんまりしていて観光名所や音楽ホールが徒歩圏内にあり、ヨーロッパの真ん中に位置するので、パリ、ロンドン、ベルリンにもアクセスしやすかったです。桐朋学園大学を卒業してから、修士課程として留学したので、時間的な余裕もありました。

音楽院内のホールでは一流の音楽家の演奏会がよく開催され、ありがたいことに学生は無料で入れました。コンサート帰りにバーでその日の演奏についてお友達と語るというのが、今考えると青春の1ページのような思い出です。

在学中の2000年には、ローム ミュージックファンデーションの奨学生にも選んでいただき、

いろいろな講習会や、たくさんの先生のレッスンを受けることもできました。

日本でも素晴らしい先生に教えていただきましたが、ヨーロッパに行ったことでその空気感が体に入って、音色や表現の幅が出せるようになり、喜びを感じながら自由な演奏ができるようになったと思います。

とはいいながら、帰国後15年間ヨーロッパに行けておらず、パスポートも切れた状態で、昨年やっと更新しました。近々、またヨーロッパの空気を感じに行きたいと思います。

— 1999年にマリア・カナルス国際音楽コンクールで第3位に入賞されていますね。

スペイン バルセロナで開催されたコンクールで、街の建物の美しさから空の青さ、人の明るさに助けられて伸び伸びと演奏できました。ラテンの国も良いなと感じました。

— これまでで印象に残っているコンサートについてお聞かせください。

アクシデントの話です。帰国後すぐ、サントリーホールにて、小林研一郎先生指揮でシベリウスのコンチェルトを演奏したとき、カデンツ(オーケストラの演奏を伴わずに独奏楽器のみが演奏する部分)で、急に弦が緩んだんです。切れていればお客様にも分かりますが、地味に緩んでしまったのでお客様は最初気付かず、でも演奏を続けることもできなかったため、途中で止めてしまいました。そのとき、小林先生が客席



小林研一郎先生とコンサート終演後

に振り返って「弦が緩みました」とご説明くださり、私は2,000人のお客様の前で弦を締め直して、カデンツの初めから弾き直しました。度胸がついたといいますか、ひとつ図々しくなれたコンサートでした。

最近では、2017年11月にデビュー20周年記念リサイタルを開催しました。舞台に出たときお客様と自分が一体化したように感じ、その空気感が心に響いたことを覚えています。プログラムはブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲にしました。昔からブラームスは好きで、何かに浸りたい気分のときに弾くイメージでしたが、今この歳だからこそ学生時代とは違うブラームスの表現が出せるのではないかと思い、選曲しました。

— デビュー20周年を迎えられて、これまでと今後の活動への思いをお聞かせください。

あっという間でした。1997年の日本演奏家連盟のリサイタルを基準にあれから20年間で国内外各地での演奏活動、アウトリーチ活動、FMラジオでのクラシック音楽番組、大学講師としての指導などの活動で出会ったすべての方々との関わりが、今の私を形づくっているのだと、感謝の気持ちです。

私はよく自分を「木」に例えます。私という幹があって、そこからいろいろな活動の枝が生えている。その枝を一つ一つ大切に、これから21年目を以降もたく成長させていきたいです。

— デビュー20周年記念アルバムもリリースされましたね。

これまで折に触れて演奏してきたけれど録音していなかった魅力的な小品18曲をまとめました。活動のひとつの柱でもあった、従妹の神谷未穂とのデュオ・プリマとしての演奏も2曲入れています。ピアノは、今若手ピアニストとしてご活躍の實川風さんをお願いし、20年間で培ってきた私の演奏を、若い勢いのある實川さんとの共演によりこれから先も見据えて…という思いを込めてつくったアルバムです。



活躍する奨学生インタビュー

©堀田力丸

— 後進の指導にも関わっていらっしゃいますね。最後に、若い方に伝えたいメッセージをお聞かせください。

そうですね。私はよく「今の図々しさを20代のときに欲しかった!」と感じます。私も10代20代のころはもう少し引っ込み思案で、もったいなかったなど。何を始めるにも勇気が必要ですが、奨学金に申請するのも、セミナーに参加するのも、何でもとにかくやってみる。若いときの失敗は宝です。いろいろなことに貪欲にチャレンジすることが大切。私もそう心掛けるようになって、演奏も変わったし、すべてが楽しくなりました。

□ 今後の演奏会予定

●東日本大震災チャリティコンサート
千の音色でつなぐ絆 in 川崎
2018年4月17日(火) 18:00
川崎市国際交流センター

●第23回 宮崎国際音楽祭
2018年4月28日(土)~5月13日(日)
メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)ほか
<http://www.mmfes.jp/2018/>

●神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会
県民ホール名曲シリーズ第1回
2018年7月14日(土) 15:00 神奈川県民ホール
http://www.kanaphil.or.jp/Concert/teiki_ensokai.php#560

国内外で活躍するローム ミュージック フレンズなど豪華出演者による音楽祭!

ROHM MUSIC FESTIVAL

ローム ミュージック フェスティバル 2017

2017.7/1[土]・2[日]・8[土] ロームシアター京都

2017年7月の週末3日間、ロームシアター京都で、音楽の祭典「ローム ミュージック フェスティバル」を開催しました。

このフェスティバルは、ロームシアター京都がオープンした2016年に始まり、今年は2回目となります。メインホールとサウスホールではこれまでの支援事業で関わった国内外で活躍する「ローム ミュージック フレンズ」42人を中心とした豪華メンバーによる7公演を、2階共通ロビーでは京都堀川音楽高等学校と大阪音楽大学の学生による無料の室内楽コンサートを開催しました。

ロームシアター京都全体が音楽であふれ、多くのお客様にご来場いただきました。



〔ローム ミュージック フェスティバルの様子〕



〔ロームシアター京都外観〕



ローム ミュージック フレンズ 懇親会

国内外から集まったローム ミュージック フレンズ他出演者が一堂に会し、親睦を深めました。



<サウスホール>

リレーコンサートA 古典とロマン 室内楽名曲選

さまざまな編成の室内楽の名曲を、ローム ミュージック フレンズたちの豪華な共演とともに楽しみいただきました。

大谷玲子、寺田富美子(ヴァイオリン)、直江智沙子(ヴィオラ)、
門脇大樹(チェロ)、西山真二(コントラバス)、伊藤圭(クラリネット)、
中野陽一朗(ファゴット)、岸上稔(ホルン)



©佐々木卓男



VOICE 大谷 玲子 [ヴァイオリン]
(1998年度奨学生)

ご支援により世界各地で学び、現在は国内外で大活躍される皆様と、このようなご縁と一緒に音楽をつくり上げることができ、とても楽しく、いい刺激を受け、今後への活力になりました。地元関西で、このようなレベルの高い音楽の祭典が開催され、音楽家同士の交流、そして聴きに来てくださるたくさんの方々との交流ができることは素晴らしい、関西人として何よりうれしいことです。



VOICE 門脇 大樹 [チェロ]
(2001、2002年小澤征爾音楽塾 塾生、
2007~2010年度奨学生)

ローム ミュージック フェスティバル2017を、若き日のベートーヴェンの七重奏曲で華しく開幕できればという思いで演奏いたしました。今回初めて共演する方も多く、とても刺激的でした。このような機会を与えていただき深く感謝しています。



©佐々木卓男

リレーコンサートB 次代の俊英たちによる ロシアの調べ

次代を担う3人によるS.ラフマニノフのチェロ・ソナタとD.D.ショスタコーヴィチのピアノ三重奏曲 第2番の演奏をお届けしました。

郷古廉(ヴァイオリン)、宮田大(チェロ)、田村響(ピアノ)



VOICE 郷古 廉 [ヴァイオリン]
(2010~2012年度奨学生)

新しい出会いと刺激に満ちた時間でした。留学をサポートしていただいただけでなく、このような機会をいただけたことに改めて、感謝申し上げます。



VOICE 宮田 大 [チェロ]
(2003、2004年
小澤征爾音楽塾 塾生、
2010~2012年度奨学生)

今回は同窓会のような気持ちでした。仲間達とのアンサンブルを通して、やはり音楽は人と人との交流からも生まれてくるのだなと思いました。一人では叶えられない最高に特別な時間と音楽を楽しむことができ、機会を与えてくださったことに深く感謝しております。



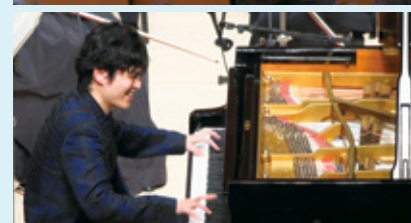
VOICE 田村 響 [ピアノ]
(2008、2014年度奨学生)

初めての会場、そして、初めて共演する郷古さんとの出会いもあり、とても充実した刺激的な時間でした。とても良い雰囲気をつくってくれたお客様にも、感謝申し上げます。

<メインホール>

オーケストラ コン서트I 雄大なオーケストラの世界 アメリカに思いを馳せて

前半はアメリカを代表する2人の作曲家、L.バーンスタインとG.ガーシュウィンを、後半は最も人気のある交響曲の1つであり、A.ドヴォルザークが“新大陸—アメリカ”で作曲した「新世界より」をお楽しみいただきました。



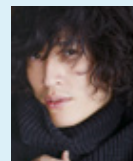
©佐々木卓男

清塚信也(ピアノ)、三ツ橋敬子(指揮)、
京都市交響楽団<コンサートマスター>：泉原隆志



VOICE 三ツ橋 敬子 [指揮]
(2004、2009年度音楽セミナー受講生、
2005~2008年度奨学生、
2009.10~2011.9音楽在外研究生)

ローム ミュージック ファンデーションが結んでくださった、国内外で活躍されている多くの音楽家の皆様との絆に感激し、刺激を受け、リハーサルから大変濃密で充実した1週間でした。ローム ミュージック フレンズの皆様とロームシアター京都が、日本の音楽文化を世界へ発信し続けることを祈りつつ、私自身も音楽家として邁進し続けたいと思います。



VOICE 清塚 信也 [ピアノ]
(2002、2003年度奨学生)

ロームシアター京都という新たな日本の音楽的な心臓部になりうる場所で、こういった音楽祭が行われることに喜びを覚え、そして日本の一音楽家として誇りに思います。どのコンサートも「本当の意味で」本格的かつ面白いものであり、胸を張って自慢できる素晴らしい音楽祭となりました。



VOICE 泉原 隆志 [ヴァイオリン]
(2002年小澤征爾音楽塾 塾生、
2003年度奨学生)

1日目はドヴォルザーク交響曲第9番「新世界より」で京響らしい情熱的なサウンドをお届けでき、2日目は、豪華な歌手の皆様素晴らしい歌声に酔いしれた素敵なコンサートになったのではないかと思います。お客様の集中力が非常に心地良く、会場の雰囲気は後押しされてのびのびと演奏できました。また、来年も楽しみです!

<2階共通ロビー(ロビーコンサート)>

京都市立京都堀川音楽高等学校
[ヴァイオリンアンサンブル]



[声楽アンサンブル]



[フルートアンサンブル]



大阪音楽大学
[金管五重奏]



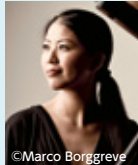
©大澤正

2017.7/2

<サウスホール>

リレーコンサートC ピアニストたちの祭典

ピアノソロと2台ピアノ、活躍するピアニストたちの演奏をリレー形式で、最後に菊池洋子さんと津田裕也さんの初共演もお届けしました。



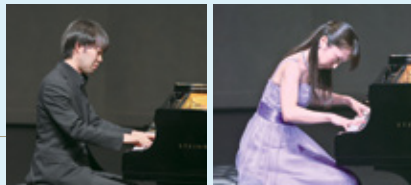
Voice 菊池 洋子 [ピアノ]
(2002、2003年度奨学生)

長年、多くの音楽家のサポートを続けてくださるからこそ、このような多彩な顔ぶれと素晴らしいプログラムが実現できたのだと思います。懇親会では、なかなか会えない音楽仲間との再会を、同窓会に来たような気持ちで楽しみました。

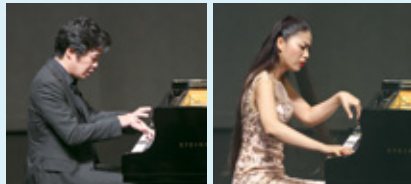


Voice 津田 裕也 [ピアノ]
(2008～2010、2012年度奨学生)

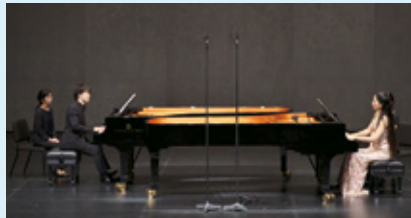
素晴らしいロームシアター京都で、たくさんの方の応援のおかげで演奏することができて幸せでした。素晴らしいピアニストの菊池洋子さんと初共演や、そうそうたる出演者の皆様から多くの刺激を受けました。



左より/津田裕也、奥村友美(ピアノ)



左より/川島基、菊池洋子(ピアノ)



©佐々木卓男

リレーコンサートD 弦の響き、弦の彩

ローム ミュージック フレンズによる1日限りの特別編成弦楽合奏団の演奏で、弦楽合奏の名曲をたっぷりとお楽しみいただきました。

三上亮(コンサートマスター)、小林玉紀、佐橋マドカ、塩見みづる、鈴木愛理、滝千春、直江智沙子、西川実利奈、廣岡克隆、松田理奈、矢野玲子(ヴァイオリン)、坂口翼、鈴木か、三浦克之、渡邉千春(ヴィオラ)、奥田なな子、金子鈴太郎、松山翔子(チェロ)、高橋洋太、松隈宗宏(コントラバス)



©佐々木卓男



Voice 三上 亮
[ヴァイオリン]
(2000年
小澤征爾音楽塾 塾生、
2004、2005年度奨学生)

皆さんの本番でのワンランクアップした集中力にはステージ上で本当に興奮しました。こんなに楽しい本番はなかなか経験できません。また近いうちにこの様なメンバーで演奏できたらと願っています。



Voice 滝 千春
[ヴァイオリン]
(2004、2006年
小澤征爾音楽塾 塾生、
2006～2009年度奨学生)

さまざまな思いで日本を出た私たちが、ロームミュージック フレンズというつながりを通じて、再集結し、心も原点へと帰らせたそんな感覚でした。活躍の場、年齢は違いますが、同じ日本人としての「絆」と「信頼」で私達は最初から結ばれていて、そんな仲間だからこそつくり上げることができた時間だったと思います。



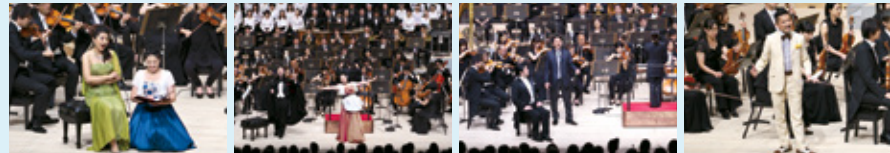
Voice 松田 理奈
[ヴァイオリン]
(2004～2007年度奨学生)

「幼少期からこの方のコンクールの音源を聴いて勉強していた」の「この方」たちと一緒に演奏でき、世界中で活躍している先輩方や友人との共演やリハーサル時間はかけがえのない刺激的な時間でした。リハーサルでは、日々の活動で得ているそれぞれの魅力的な技を、知恵とともに出し合って、音を重ねていく作業がとにかく楽しく幸せでした。

<メインホール>

オーケストラ コン서트II 愛の歌～オペラ&オペレッタ À La Carte

前半は華麗なオペラ・ガラを、後半は誰もが楽しめるJ.シュトラウスII喜歌劇『こもり』の世界をお届けしました。



田村麻子、見角悠代(ソプラノ)、藤木大地(カウOUNTERテナー)、松原友(テノール)、三ツ橋敬子(指揮)、朝岡聡(ナビゲーター)、京都市交響楽団<コンサートマスター：泉原隆志>、京響コーラス

©佐々木卓男



Voice 田村 麻子 [ソプラノ]
(2004年度奨学生)

小さなころから慣れ親しんだ京都交響楽団が名前も装いも変わって素晴らしいロームシアター京都となり、その場所でも、京都が誇るオーケストラ、合唱団とともに、皆様の前で演奏できたことは、京都出身の私にとり、感無量でした!



Voice 松原 友 [テノール]
(2008～2011年度奨学生)

奨学生としてミンヘンとウィーンで研鑽を積み、音楽に囲まれた夢のようなときを過ごしました。帰国後、多くの舞台で歌う機会をいただき無我夢中で走り続けてきましたが、今回の公演は、留学と今後の成果を披露すべく、プレッシャーのかかるものとなりました。強い刺激を受け、新たな日々を歩むための心の糧を与えられました。無我夢中の日々はこの先もしばらく続くと思いますが、音楽を通して世の中のお役に立てるよう、日々精進してまいります。

<2階共通ロビー(ロビーコンサート)>

大阪音楽大学
[サクソフォン四重奏]



[木管五重奏]



[ホルン五重奏]



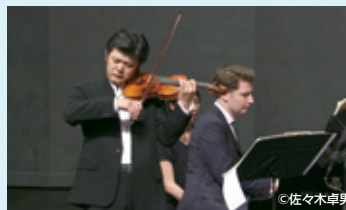
©大澤正

2017.7/8

<サウスホール>

リレーコンサートE デュオの真髄 榎本大進&アレッシオ・バックス

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 第1コンサートマスターの榎本大進さんとアレッシオ・バックスさんのデュオで、W.A.モーツァルトやM.ラヴェルのヴァイオリン・ソナタ、J.ブラームスのヴァイオリン・ソナタ「雨の歌」などをお楽しみいただきました。



©佐々木卓男



Voice 榎本 大進 [ヴァイオリン]
(1992、1993年度奨学生)

関西にまたひとつ素晴らしいホールができたことを自ら発見し経験することができたことをうれしく思います。フェスティバル全体のプログラムに、室内楽の公演が多いことも大変うれしいです。室内楽は、音と音を合わせて音楽にする「音楽の始まり」であり、その楽しさを味わえるジャンルです。オペラやオーケストラの公演とは違う、親密でアットホームな音楽がそこにはあります。これからも室内楽を広く紹介し続けてほしいと願っています。

榎本大進(ヴァイオリン)、アレッシオ・バックス(ピアノ)

2017年度 奨学生のご紹介

2017年度の
奨学生29人を紹介します。

氏名[専攻]
給付時の在籍学校
奨学生年度



「ヴァイオリン」
荒井 優利奈

ウィーン国立
音楽大学
2017年度



「ピアノ」
石井 楓子

パーゼル音楽院大学院
ケルン音楽大学
2016年度、2017年度



「チェロ」
佐藤 晴真

ベルリン芸術大学
東京藝術大学
2017年度



「ヴァイオリン」
住谷 美帆

東京藝術大学
2017年度



「ヴァイオリン」
千葉 水晶

ブリュッセル王立
音楽院大学院
桐朋学園大学大学院
2016年度、2017年度



「チェロ」
伊東 裕

ザルツブルク・
モーツァルデウム
音楽大学大学院
2017年度



「ピアノ」
梅村 知世

ベルリン芸術大学
大学院
2016年度、2017年度



「ヴァイオリン」
小川 恭子

桐朋学園大学
大学院
2017年度



「音楽学」
中村 伸子

ウィーン国立音楽
大学大学院
2017年度



「ヴァイオリン」
林 佑子

ワイマール・
フランツリスト音楽
大学大学院
2016年度、2017年度



「ピアノ」
日高 志野

チャイコフスキー
記念国立モスクワ
音楽院大学院
2016年度、2017年度



「ピアノ」
加藤 大樹

昭和音楽大学
大学院
©K. Miura
2016年度、2017年度



「チェロ」
上村 文乃

パーゼル音楽院
大学院
©K. Miura
2015年度、2017年度



「ヴァイオリン」
北川 千紗

東京藝術大学
2017年度



「チェロ」
藤原 秀章

東京藝術大学大学院
2017年度
©Kei Uesugi



「ヴァイオリン」
又吉 秀樹

アカデミア
インターナショナル
デームジカ ローマ
2017年度



「ヴァイオリン」
丸山 風乃

パリ国立高等音楽院
2016年度、2017年度
©Jean F. Chassaing



「作曲」
北爪 裕道

パリ国立高等
音楽院大学院
2016年度、2017年度



「ピアノ」
黒岩 航紀

リスト・フェレンツ
音楽大学
©武藤章
2016年度、2017年度



「ヴァイオリン」
黒川 侑

エコール・ノルマル
音楽院
2016年度、2017年度



「チェロ」
水野 優也

桐朋学園大学
2017年度



「音楽学」
村田 圭代

東京藝術大学大学院
2017年度



「ヴァイオリン」
森山 まひる

桐朋女子高等学校
音楽科
2017年度



「ピアノ」
黒田 哲平

桐朋学園大学
2017年度



「ヴァイオリン」
小林 志成

ベルリン芸術大学大学院
東京藝術大学大学院
2016年度、2017年度



「チェロ」
笹沼 樹

桐朋学園大学
2016年度、2017年度
©Kei Uesugi



「ヴァイオリン」
安田 理沙

東京藝術大学
2017年度
©Shigeto Imura



「ヴァイオリン」
吉江 美桜

桐朋学園大学
2017年度
©Shigeto Imura



「ヴァイオリン」
吉澤 淳

アントンブルックナー
音楽大学
2016年度、2017年度

2016年度 奨学生 報告会 2017年度 奨学生 認定式

2017年8月ローム・本社にて、2016年度奨学生の報告会と2017年度奨学生の認定式を開催し、39人の奨学生が京都に集いました。

ローム ミュージック ファンデーション 理事の澤村諭（ローム株式会社 代表取締役社長）より認定証を授与し、奨学生より今後1年間の抱負や奨学金給付期間中の勉学状況報告を発表していただきました。

また、同時期でスカラシップ コンサートや、奨学生同士で交流を深めていただくための懇親会を開催しました。

[8/3 集合写真]



[8/22 集合写真]



2017.

8/3 認定式報告会

スカラシップ コンサートVol.13

8/4 スカラシップ コンサートVol.14

8/22 認定式報告会

8/23 スカラシップ コンサートVol.15

次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!

ローム ミュージック ファンデーション

スカラシップ コンサートVol.13～15 ～RMF奨学生によるコンサート～

奨学金給付期間中または給付終了後1～2年の音楽学生が出演するコンサートです。音楽ファンの拡大と、若い音楽家への演奏機会の提供を目的に2013年より継続して開催しています。

2017年8月の3日間、2015、2016年度奨学生計22人が、さまざまな楽器のソロ演奏や弦楽トリオなど、フレッシュな演奏を披露し、約1,000人のお客様にお楽しみいただきました。

京都府立府民ホール アルティ



Vol. 13

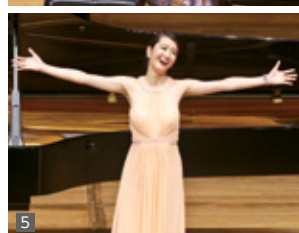
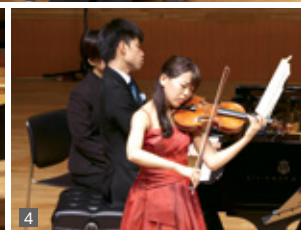
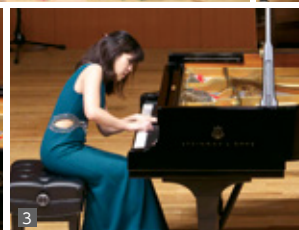
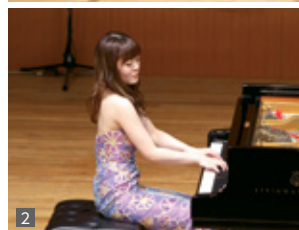


- | | | | |
|-------------|-------------------------|-------------------------|-------------|
| 1 丸山風乃(ピアノ) | 2 千葉水島(ヴァイオリン) | 3 中島頌(サクソフォン、黒岩航紀(ピアノ)) | 4 三井静(チェロ) |
| 5 藤川慧悟(ピアノ) | 6 鈴木舞(ヴァイオリン、藤川慧悟(ピアノ)) | 7 加藤大樹(ピアノ) | 8 黒岩航紀(ピアノ) |

VOICE お客様の声

- ・今回初めてこの企画を知り、3日間すべて伺いました。昨年まで知らなかったことが残念です。才能あふれる若い方たちの、個性豊かな演奏に力をもらいました。大変感動しました。
- ・今後別のコンサートでまたこの出演者たちの演奏を聴くときが楽しみです。輝かしい未来を応援しています。
- ・豪華な出演者、今活躍されている音楽家の演奏を1日で聴けて幸せなひとときでした。

Vol. 14

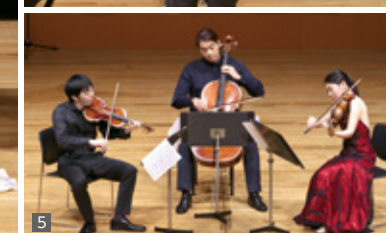
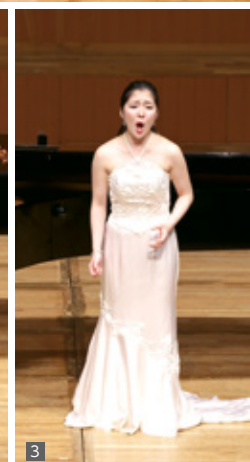
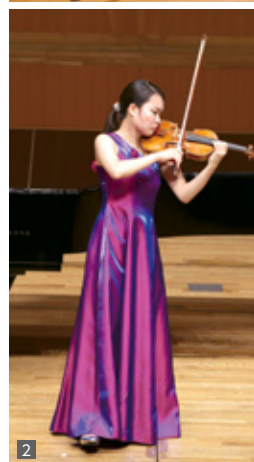
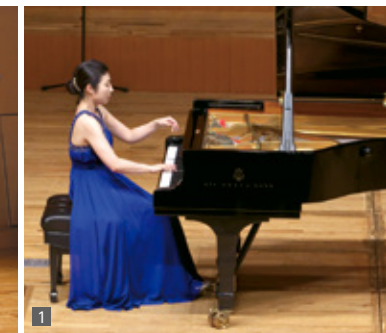


1 福田廉之介[ヴァイオリン] 2 日高志野[ピアノ]
3 石井楓子[ピアノ] 4 坪井夏美[ヴァイオリン]、務川慧悟[ピアノ]
5 林祐子[ソプラノ] 6 内匠慧[ピアノ] 7 黒川栞[ヴァイオリン]、務川慧悟[ピアノ]

懇親会



Vol. 15



1 梅村知世[ピアノ] 2 辻彩奈[ヴァイオリン] 3 吉澤淳[ソプラノ]
4 宮里直樹[テノール] 5 倉富亮太[ヴァイオリン]、田原綾子[ヴィオラ]、世沼樹[チェロ]





京都・国際音楽学生フェスティバル2017

世界の選ばれし若き音楽学生が京都に集い共演する夢の音楽祭!

京都・国際音楽学生フェスティバル2017

1993年より毎年、京都の春を彩る音楽イベント「京都・国際音楽学生フェスティバル」は今回で25回目を迎えました。このフェスティバルは「音楽」を通じた国際交流と音楽家の育成を目的に、世界の代表的な音楽学校より選ばれた学生たちを京都に招き開催するフェスティバルです。

弦楽器、管楽器、ピアノ、歌などさまざまなジャンルでソロ、室内楽の演奏を行い、フィナーレは《音楽で巡る世界の国々》と題して参加各国の作曲家の作品をオーケストラで演奏を行う構成になっています。

5日間通して世界の若き音楽家たちの新しい音楽観と素晴らしい感性に満ちた演奏を多くのお客様にお楽しみいただきました。また、新たに地下鉄京都駅コトチカ広場でプレフェスティバルコンサートを開催し、こちらも多くのお客様にお楽しみいただきました。



2017.5/27~5/31

京都府立府民ホール アルティ

海外9カ国9校21人、国内13校81人、合計102人

出演		参加者
国	学校	
アメリカ	ジュリアード音楽院	3
オーストリア	ウィーン国立音楽大学	3
フランス	パリ国立高等音楽院	3
ドイツ	ベルリン芸術大学	4
ロシア	チャイコフスキー国立モスクワ音楽院	1
イタリア	ミラノ・ヴェルディ音楽院	1
チェコ	プラハ国立芸術アカデミー	2
ポーランド	ショパン音楽大学	2
スペイン	マドリッド王立高等音楽院	2
日本	桐朋学園大学	3
	東京藝術大学	5
	国立音楽大学	1
	武蔵野音楽大学	2
	東京音楽大学	2
	大阪音楽大学	31
	京都市立芸術大学	11
	愛知県立芸術大学	2
	大阪芸術大学	3
	同志社女子大学	3
	相愛大学	10
	くらしき作陽大学	1
	洗足学園音楽大学	7



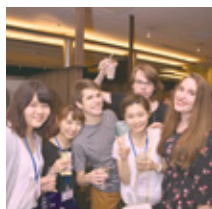
[プレフェスティバルコンサート 2017.5/13 地下鉄京都駅コトチカ広場]



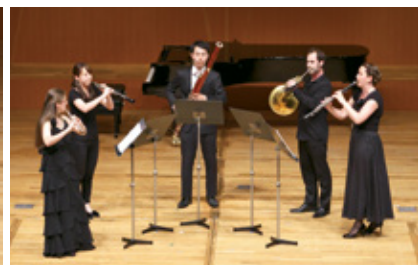
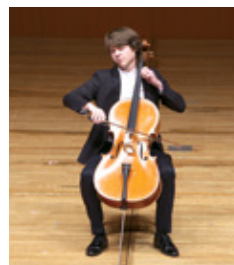
[リハーサルでの集合写真]



[コンサート終了後、共演者と]



[フェアウェルパーティー]



Voice

お客様の声

- ・25回も続けていることが素晴らしいです。若いエネルギー溢る演奏にパワーをもらって感動しました。
- ・音楽を言語として世界平和のための対話を体現していて感激しました。
- ・国際フェスティバルに相応しい雰囲気、このコンサート会場は平和な空気が流れていていつも居心地がよいです。
- ・リーズナブルな価格で本格的なクラシック音楽を聴くことができ大変良かった。

Voice

各国参加学生の声

- ・京都・国際音楽学生フェスティバルの舞台上で音楽ができるという、この信じられないくらい素晴らしい機会を与えていただき、本当にありがとうございます。音楽は世界を結び、それが平和につながると信じています。(ドイツ)
- ・私はこのような経験ができて本当に幸せです。世界中のともに音楽を学ぶ学生の方々と音楽に触れ合い、演奏し、コミュニケーションを通すことによって、よりこんなにも音楽は楽しいことなんだと、改めて感じ、もっともっと音楽が大好きになりました。一生忘れられない経験、思い出ができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。(日本)

ローム ミュージック ファンデーション音楽セミナー2017(管楽器クラス)

この音楽セミナーは、世界的に活躍している音楽家を講師に迎え、プロの音楽家の育成を目的に1992年より開催しています。これまでに、「弦楽器クラス」「管楽器クラス」「指揮者クラス」を実施してまいりました。受講生たちは、7日間の集中したソロと室内楽のレッスンをを行い、朝から晩まで切磋琢磨して音楽を学びました。また、最終日にはロームシアター京都でコンサートを行い、若い音楽家たちのみずみずしい演奏を多くのお客様にお楽しみいただきました。



2017.12/20～12/27

セミナー :2017.12/20～12/26 メルパルク京都

コンサート:2017.12/27 ロームシアター京都 サウスホール

音楽セミナー開催のあゆみ

開催回数	開催期間	受講生	開催クラス
第1回～第8回	1992～1996	154人	弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
第9回～第13回	1998～2002	149人	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
第14回～第23回	2003～2005、2007～2013	97人	指揮者
第24回～第26回	2015～2017	75人	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
	計	475人	



フルート 工藤重典先生のレッスン



オーボエ 古部賢一先生のレッスン



クラリネット 山本正治先生のレッスン



ホルン 猫井正幸先生のレッスン



ファゴット 吉田将先生のレッスン



室内楽のレッスン



コンサート(ソロ)



コンサート(室内楽)



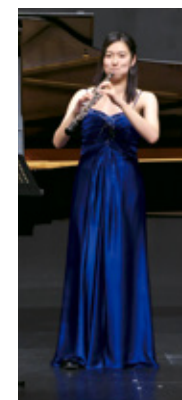
コンサート(講師による模範演奏)

受講生インタビュー



河野 彬
(フルート)

最終日のコンサートで、満員のお客様の前で一週間勉強した成果を発表できたことはとても身になりました。また、お客様からいただいた拍手もとても温かく、受講生の皆さんともすぐに仲良くなれる、稀有なセミナーだと思いました。



小阪 怜佳
(オーボエ)

セミナー期間中に自分の反省点が見えてきました。それを今後の成長の糧にして、いい音楽家になるための勉強を続けていきたいと思います。コンサートでは、ソロも室内楽もとても楽しく演奏することができました。素敵な機会をいただき、ありがとうございました。

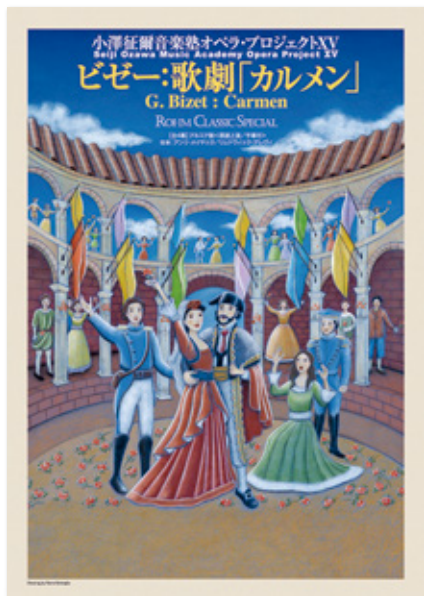




小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXV

小澤征爾音楽塾とは？

小澤征爾さんをはじめとした一流の音楽家がオペラを通じて若手音楽家を育成することを目的に2000年からスタートした教育プロジェクト。恩師であるカラヤンの言葉「交響曲とオペラは、音楽という車の両輪のようなもの」を持論とする小澤さんは、その実践の場として小澤征爾音楽塾公演を開催しています。ロームは活動が始動した2000年より、その公演活動を継続的に支援しています。



G.ビゼー：歌劇「カルメン」 ROHM CLASSIC SPECIAL [全4幕]アルコア版(原語上演/字幕付)

台本 アンリ・メイヤック/リュドヴィック・アレヴィ
2017.3/20・3/22 ロームシアター京都
3/26 東京文化会館、3/29 愛知県芸術劇場

今回もロームシアター京都をオペラの制作拠点として公演されました。小澤征爾さんと村上寿昭さんの指揮で導かれた若い音楽家たちのオーケストラと世界で活躍する歌手たちによるオペラ公演に、多くのお客様が酔いしれました。

音楽監督・指揮：小澤征爾
指揮：村上寿昭 ※指揮は小澤征爾、村上寿昭の2人による振り分け
演出：デイヴィッド・ニース
管弦楽：小澤征爾音楽塾オーケストラ
合唱：小澤征爾音楽塾合唱団
児童合唱：京都市少年合唱団
出演：サンドラ・ピクス・エディ、チャド・シェルトン、ケイトリン・リンチ、ボアス・ダニエル 他
このプロダクションはシカゴ・リリック・オペラが所有しています。



子どものためのオペラ 歌劇「カルメン」より (原語上演/字幕付)

2017.3/17 ロームシアター京都

「子どものためのオペラ」は、「本物のオペラを体験してほしい」という小澤征爾さんの思いから生まれた、小学生を対象とするオペラ公演です。京都の小学生約3,000人を無償で招待して、公演を鑑賞していただきました。初めにオーケストラの各楽器が工夫を凝らした演出で登場し、誰もいなかったオーケストラピットが徐々に埋まっていきました。そして本番では、本公演のカバーキャスト(控え歌手)が出演し、1幕を抜粋して披露され、小学生たちはその豪華なステージと演奏に目を輝かせていました。



小澤征爾音楽塾 オーケストラメンバーによる ロビーコンサート

2017.3/18・3/19 ロームシアター京都

小澤征爾音楽塾のオペラの制作拠点としているロームシアター京都で無料のロビーコンサートが行われました。

演奏者が目の前でさまざまな音楽を演奏し、お客様に親しんでいただきました。



ローム クラシック スペシャル
日本フィル エデュケーション・プログラム 小学生からのクラシック・コンサート2017

「クラシック音楽は敷居が高い」「わかりにくい」というお子様や親御様のために、クラシック音楽を楽しむためのヒントを紹介するコンサートで、ロームシアター京都で初めて開催されました。

弦楽器20人により奏でられるモーツァルトの「アイネクライネ・ナハトムジーク」などに込められた音楽的なエッセンスや作曲家の想い、技法などを、指揮者とナビゲーターによる楽しい演劇を交えながら学んでいただき、多くのお客様に喜んでいただきました。



2017.5/6
ロームシアター京都 サウスホール

ローム クラシック スペシャル
日本フィル 夏休みコンサート2017



©佐々木卓男

日本フィルハーモニー交響楽団が、「本物の音楽を生のオーケストラで、親子そろってわかりやすく楽しんでいただく」というコンセプトで43年にわたって行っているファミリーコンサートです。

次世代を担う子どもたちが生の音楽を身近に感じ、触れる場として、これまでに120万人を超える動員数を誇り、3世代にわたって親しまれています。

2016年からロームシアター京都で開催されており、本格的なオーケストラ演奏やバレエなどで盛り上がりました。

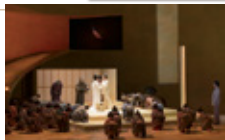
2017.8/19
ロームシアター京都 メインホール

平成29年度
新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室「蝶々夫人」

若い世代に、優れたオペラを鑑賞する機会を通して芸術文化の素晴らしさを伝えるため、新国立劇場にて1998年からスタートしたこの鑑賞教室。2008年からは関西でも開催し、2016年からはロームシアター京都で開催されています。

音楽文化の普及と発展には、優秀な音楽家の育成とともに音楽ファンの拡大も重要との考えから、ローム株式会社は1999年から、ロームミュージックファンデーションは2008年から毎年継続的に支援しています。

今年も東京で6日間・約10,000人、京都で2日間・約3,000人の感性豊かな高校生が鑑賞し、大盛況のうちに幕を閉じました。



©寺司正彦、写真提供:新国立劇場

2017.7/10~7/15
新国立劇場 オペラパレス
2017.10/30、11/1
ロームシアター京都 メインホール

ローム ミュージック フレンズからの

お便り

The letter from rohm music friends



ローム ミュージック フレンズから届いたご活躍の様子を一部ご紹介します。(順不同)

氏名【専攻】 援助年度
給付時の在籍学校



変わらず挑戦の日々

ふくもと まり
福本 茉莉 【オルガン】 2014,2015年度奨学生
ハンブルク音楽演劇大学

ハンブルクでの生活も7年目に入りました。昨年は京都市交響楽団の皆様と高関健先生の指揮でご一緒し、また話題のエルプフィルハーモニーとも演奏するなど、たくさんの素敵な経験に恵まれました。また現在、クーリエジャパンにて『福本茉莉の欧州風琴紀行』を連載しております、ぜひ御一読いただけますと幸いです！今年はロシア、イギリス、スロヴァキアでのデビューが待っており、とても楽しみです！



©Jean Laurey



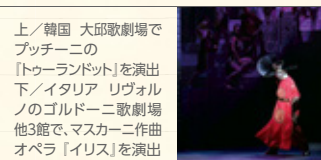
上/オランダの第6回スウェーリンク国際で第2位をいただきました。
下/ノルデン(ドイツ)のシュニットガーオルガンでのリサイタル



2017年度の演出活動に対して、音楽クリティッククラブ賞 本賞を受賞。

いはら ひろき
井原 広樹 【オペラ演出】 1995,1996年度奨学生
Accademia Musicale Europea

2017年、愛媛と伊丹で「椿姫」、関西二期会でマスカーニの「イリス」、韓国の大邱歌劇場でプッチーニの「トゥーランドット」、みつなかオペラでプッチーニの「妖精ヴィッリ」と「外套」、大阪音楽大学ザ・カレッジオペラハウスでモーツァルトの「偽の女庭師」、イタリアのリヴォルノ歌劇場、ピサ歌劇場、ルッカ歌劇場で「イリス」を演出しました。そしてその年のクリティッククラブ賞本賞をいただきました。大学で次世代の若者をサポートしながら、現場の仕事をする日々のなかで、ロームに支えていただいた恩恵に思いを馳せます。感謝。

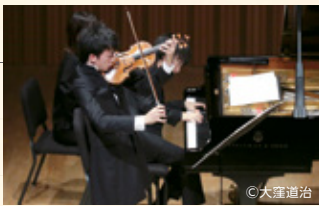




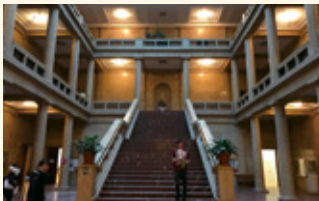
ヨーロッパで暮らして

やまね かずひと
山根 一仁 [ヴァイオリン] 2012、2013年度奨学生
桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)

今、ドイツ国立ミュンヘン音楽大学に学部生として在籍し、日々学んでいます。ドイツでの生活も3年目に入り、フランス、スイス、イタリア、チェコ、オランダ、ポーランドなど、少しの時間で移動ができ、日本に住んでいたときと国境を超える感覚が違うことにも慣れてきました。また、多くの素晴らしいアーティストとの出会いもありたくさんの刺激を受けています。今、自分自身、内なる変化を楽しみながら試行錯誤して学んでいます。日本での演奏の機会も多くいただき、いろいろな楽曲にも積極的に取り組んでいます。多くのお力添えに感謝しながらさらに精進していきたいと思っています。



©大塚道治



上/シュニトケ&ショスタコーヴィッチプロジェクトにて 写真提供:トッパンホール
下/ミュンヘン音楽大学のエントランス



ベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏会を終えて

くさか ちな
日下 知奈 [ピアノ] 2002、2003年度奨学生
ケルン音楽大学

2015年10月から2017年12月まで約2年、5回にわたって「日下知奈室内楽シリーズ ベートーヴェンばらす」という演奏会をカワイ表参道パウゼサロンで開催しました。ベートーヴェンのヴァイオリンソナタに他の作曲家をプラスして、また各回異なるヴァイオリニストと共演するという試みでした。全曲を演奏してみて、改めて作品の偉大さを感じ、またさまざまなアプローチの可能性を共演者と一緒に追求できたことは、大きな喜びとなりました。



上/ベートーヴェンシリーズ5回目、妹の日下紗矢子と
下/聴きに來てくださった伊藤恵生と



エリザベート王妃国際音楽コンクールを経て

おかもと ゆうや
岡本 侑也 [チェロ] 2013、2014年度奨学生
ミュンヘン音楽演劇大学

2017年5月から6月にかけてベルギーのブリュッセルで開催されましたエリザベート王妃国際音楽コンクールにて第2位を受賞しました。一次予選からファイナルまで、大変温かい雰囲気のお客様に囲まれて、忘れられない体験となりました。2017年秋からミュンヘン音楽演劇大学の大学院に進学致しましたが、今後も地道に精進して、たくさんの方々との音楽の素晴らしさを共有していきたいと願っております。



上/エリザベート王妃国際音楽コンクールファイナル
下/2018年1月東京オペラシティリサイタルシリーズB→C



©Shigeto Imura

ローム ミュージック フレンズからのお便り

The letter from rohm music friends



京都市芸術新人賞

たむら ひびき
田村 響 [ピアノ] 2008、2014年度奨学生
ザルツブルグ・モーツァルトウム音楽大学、大阪音楽大学大学院

「平成29年度京都市芸術新人賞」を受賞し、市役所にて受賞式に参加しました。演奏家と指導者との両立は時間や体力、精神的に簡単ではないですが、与えられた道に感謝し、今回の賞を励みとしさらなる成長と発展を目指して精進したいと思います。その他、2018年に入って第17回防府音楽祭ほろひふニューイヤークンサートでリストのピアノ協奏曲第1番を、高関健氏指揮・東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を演奏するなど演奏活動も積極的に行っています。



©武藤章



上/2018年1月29日 京都市芸術新人賞 授賞式にて、門川大作市長と寺田一博京都市会議長と下/高関健氏指揮・東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団との終演後、楽屋にて



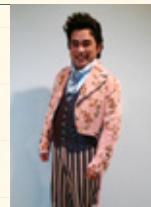
二期会オペラデビューとリサイタル

なかじま やすはる
中島 康晴 [テノール] 2003年度奨学生
ミラノ国立音楽院

一昨年より二期会に所属し、2017年秋は10月に二期会でのオペラデビューとなる「ばらの騎士」にテノール歌手役として名古屋・大分公演に出演しました。この役はミラノ・スカラ座にデビューしたときの思い出のオペラで、2分間高音域が続く高難度の Aria があり他の登場人物がドイツ語で歌うなか、唯一イタリア語で歌う変わった役です。二期会オペラデビューもこの役になるとは思っていなかったのですがこの役にはとても縁を感じます。名古屋では宗次ホールでソプラノの林正子さんとジョイント・コンサートも行い大盛況でした。この機に東京HAKUJILホールでのリサイタルも催し満席のなかこちらもブラボーの嵐が飛び交うコンサートとなりました。



上/オペラ「ばらの騎士」テノール歌手役楽屋前にて
下/名古屋宗次ホール前にてコンサート後



幅広く、音楽とともに世界へ

なら きあい
奈良 希愛 [ピアノ] 2004年度奨学生
ベルリン芸術大学大学院、マンハッタン音楽院大学院

勉学の機会というものは、ご縁があってこそのものであり、学生時代、思う存分勉強ができましたのも、ローム ミュージック ファンデーションのご援助なしでは叶わぬことでした。本当にありがとうございました。お陰様で今尚国内外に演奏活動、マスタークラス、そして国際コンクールの審査員として招聘を受けることも多くなり、ここまで音楽に携われる人生を歩むことのできる幸に深く感謝する日々です。そしてまた教え子たちが、次々と世界へ羽ばたいていくようになりました。



©武藤章



上/スペイン ホセ・イトゥルビ国際ピアノコンクール審査員として
下/浜松国際ピアノアカデミー講師陣コンサートにて写真提供:浜松市文化振興財団



オーケストラの仲間と

かねこ たいら
金子 平 [クラリネット] 2005～2008年度奨学生
リュウベック音楽大学院

オーケストラで演奏する日々が7年目になりました。指揮者の情熱に触れたり、共演者とのハーモニーづくりに喜びを感じています。最近では、読売日本交響楽団のメンバーとモーツァルトとブラームスの五重奏という名曲を一度に演奏しました。普段から演奏している仲間と合わせをしているときは、まるで家族のような一体感を感じました。



上/終演後でみんなほっとしています。
下/東京六人組というグループでも活動しています。



©読売日本交響楽団



ウィーン留学を経て～帰国後の演奏と教育活動～

すずき まなみ
鈴木 愛美 [ソプラノ] 2010～2012年度奨学生
ウィーン国立音楽大学大学院

ウィーンで、オペラや歌曲を思い存分学べたことは、今でも大変貴重な経験となっています。帰国後は、東京と出身地の新潟を行き来し、演奏活動と、新潟大学声楽専任講師としても教育活動を行っています。演奏では、ウィーンで研鑽した「天地創造」「カルミナ・ブラーナ」「合唱幻想曲」他のソリストの機会に恵まれ、大学では、留学時代に学んだ発声法や音楽表現を、多角的な引き出しを持って学生さんに伝えられるよう努めています。今でも、ウィーンの恩師に継続的に師事。ご縁とご支援をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。



©日経新聞WEB



上/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団「カルミナ・ブラーナ」にて
下/2017年秋、恩師であるウィーン国立音楽大学C.ヴィスカ教授と



忙しい日々、とても充実しています。

えんどう まり
遠藤 真理 [チェロ] 2006、2007年度奨学生
モーツァルトウム音楽大学

読売日本交響楽団のソロチェロ奏者として活動を始めました。次々に新しいプログラムを準備するのは大変ですが、たくさんの曲を学べてとても充実しています。2012年から続いているNHK-FM「きらクラ!」は放送開始から6年が経ちました。仕事に子育てと、バタバタした生活も振り返ると良い思い出になりつつあります。



©読売日本交響楽団



上/ブラームスのピアノコンチェルト第2番3楽章ではチェロのソロを演奏。自分がコンチェルトを弾くよりも緊張しました。
下/きらクラ!収録の渋谷のNHKにて、ふかわりょうさんと



©NHK



すべての出会いに感謝

かみの ちえ
神野 千恵 [ピアノ] 2007～2009年度奨学生
ジュネーヴ音楽院

2017年は思いがけずCD制作のお話をいただき、ショパンのバラードとスケルツォ全曲を録音いたしました。また、バラード全曲を含む2度のリサイタルを開催、6月には日本モーツァルト愛好会の例会リサイタルにも出演しました。結成してもうすぐ5年目を迎えるピアニトリオでの活動もますます充実し、すべての出会いが今につながっていることを実感する日々です。応援してくださる皆様への感謝を胸に、今後も研鑽を重ねてまいります。



上/2018年春 CD「バラード&スケルツォ」リリース
下/ラ・フォル・ジュルネ音楽祭2017にて



私のVISIONS

かわさき しょうこ
川崎 翔子 [ピアノ] 2009、2010年度奨学生
東京藝術大学大学院

2016年にミュンヘン音楽大学を修了し、長きに亘った学生生活を終えました。修了後も引き続き音大で後進の指導にあたりドイツ語でのレッスンに四苦八苦の日々ですが、芸術と人とが隣り合う街、ミュンヘンに居られることに幸せを感じる毎日です。演奏の方では、学生生活を終え、“コン活”ならぬコンクール活動も終えたら不思議と活動の幅も増えました。2017年は初のソロアルバムを発売しました。儚さや夢、幻影を想起させるような作品を集め、そのタイトルはVISIONS Iです。今後、Part2をリリース予定です。



©Neda Navaee



上/Gasteig主催のWinners&Mastersシリーズに出演し、年間パンフレットの表紙に
下/東京文化会館大ホールにて。山田和樹氏指揮、横浜シムフォニエッタと



オーケストラ、ソロ、そして現代音楽

さきつ
佐橋 マドカ [ヴァイオリン] 2009～2011年度奨学生
ジュネーヴ高等音楽院

首席として所属するオーケストラとソロ共演の機会をいただく他、現代音楽アンサンブルのメンバーとして各地に招かれ演奏しています。今を生きる作曲家たちと直接やりとりしながらの音楽づくりは刺激的で毎回が冒険です。フランスに根ざして5年、演奏の基盤ができ、家族のような音楽仲間と巡り会えたのは、留学をご支援くださったローム ミュージック ファンデーションのおかげです。心より感謝申し上げます。



©Shigeto Imura



上/フランス国立Pays de Savoie管弦楽団との共演 OPS@P-Flamant
下/レマニック モダン アンサンブルの仲間たちと



演奏家として、教育者として

なかしま あや
中島 彩 [ピアノ] 2003~2005、2007年度奨学生

ミュンヘン国立音楽大学、エコールノルマル音楽院、
サン・モール州立音楽院、シュレンス音楽院



帰国して早10年を迎えようとしています。しばらくは演奏活動に集中しましたが、近年は演奏以外の仕事にも情熱を傾けております。上野学園大学、同付属高校・中学校での教育活動。そして、フランス人の運動療法士イザベル・カンピオン先生の「ピアノ奏法のための身体の正しい動き」講座の通訳者としての活動。また、仕事の合間を縫って、パイプオルガンを学んでおります。別の楽器を弾くことで、新たな発見や、更なる疑問を得るのが本当に楽しいです。多角的な勉強や仕事で、今後の自分のピアノ演奏に豊かさをもたらすことを強く信じつつ、一瞬一瞬を大切に重ねて参ります。私の音楽家としての今があるのはひとえにローム様のご支援の故です。ありがとうございます。



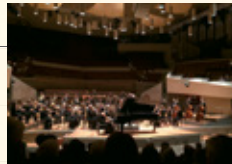
上/上野学園石橋メモリアルホールにての演奏会
下/イザベル・カンピオン先生を囲んで、運動療法講座後の打ち上げ会にて



音楽家としてのベルリン生活満喫

くらさわ あんな
倉澤 杏菜 [ピアノ] 2010~2012年度奨学生

ベルリン国立ハンサアイスラー音楽大学



現在はベルリンを拠点にソリスト、室内楽奏者として活動しています。昨シーズンは5回目となるベルリンフィルハーモニーホールのステージに呼ばれ、ベルリン交響楽団(指揮:ヴォルフガング・リュウクナー氏)とラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を、日本では東京オペラシティにてスガナミ音楽祭に出演、東京フィルハーモニー交響楽団(指揮:三ツ橋敬子氏)とモーツァルトピアノ協奏曲第21番を共演しました。これも奨学生として勉強できた留学生活あつてのことと、心から感謝しています!



上/ベルリン交響楽団とラフマニノフピアノ協奏曲第3番で共演
下/ベルリンフィルハーモニーホールソリスト楽屋にて終演後に



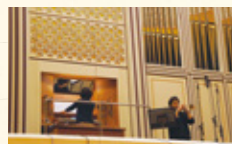
ソノアルバム「PRAYER」をリリース

さとう とものり
佐藤 友紀 [トランペット] 2003年度奨学生

ハンブルク音楽大学



2017年4月に「PRAYER」というタイトルでソノアルバムをリリースし、ありがたいことにレコード芸術誌において特選盤に選んでいただきました。高橋博子氏によるパイプオルガンの重厚なサウンドとともに、トランペットの華やかな部分も入れつつ、祈りや癒しをテーマとしたアルバムです。ドイツ留学中にトランペットとパイプオルガンの組み合わせによる音楽に多く触れ、その魅力を日本にも広めたいという思いでつくりました。ぜひ多くの方々に聴いていただきたいです。



上/ソノアルバム「PRAYER」ジャケット
下/那須野が原ハーモニーホールにてレコーディング風景



耕し続ける難しさ喜び

むらた りかこ
村田 理夏子 [ピアノ] 1999、2000年度奨学生

ベルリン芸術大学



留学生活の貴重な経験は、私の音楽人生を大きく変えてくれたと言っても過言ではない。学んだのは“自身を耕す喜び”。現在は演奏活動、指導を通して、自分を耕し続けることへ挑戦する日々です。気が付けば22年目(!)のベルリン生活となる今年は、日本でのオールラヴェル公演(浜離宮朝日ホール)、ベルリンフィルハーモニーホールでのピアノ協奏曲共演(25回目)や2夜連続2台ピアノ公演などを控え、また1つ耕す年となりそうです。



上/2018年5月20日、浜離宮朝日ホールで開催される「オールラヴェル公演」
下/今年で25回目となる、ベルリンフィルハーモニーホールでのピアノ協奏曲公演



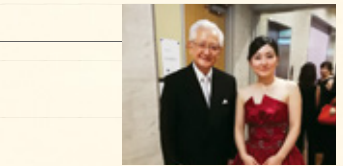
音楽を通して広がる世界

さとう まり
佐藤 麻理 [ピアノ] 2013、2014年度奨学生

ウィーン国立音楽芸術大学



2017年はソリストとして中部フィルハーモニー交響楽団にお招きいただき、2018年の年始は巨匠チェリストのピーター・ヴィスベル・ウェイ氏と室内楽で共演するなど、日本でも光栄な機会を多くいただきました。ウィーンでも活動しているStratos Quartett(ストラス ピアノ四重奏団)としては、オーストリア外務省の音楽振興プログラムで推奨アーティストに選ばれ2018/19年度はさらに世界中で活動の幅が広がります。2017年11月ポーランドの国際ベートーヴェン室内楽コンクールで1位とグランプリをいただき、副賞としてCD録音をすることになりました。音楽を通して出会う世界に常にワクワクし、充実した日々を送っております。留学中の貴重な期間を支えていただきましたことが今につながっていると実感しており、心より感謝いたします。



上/指揮の秋山和慶先生と終演後に
下/Stratos Quartettストラス ピアノカルテットウィーンフィルなどで活躍するメンバー、それぞれ忙しいなかリハーサルの時間を見つけて奮闘中!



文化庁芸術祭賞新人賞

わかばやし
若林 かをり [フルート] 2009~2011年度奨学生

ストラスプール音楽院



リサイタルシリーズ「若林かをり フルーティッシモ!」の活動が、平成29年度(第72回)文化庁芸術祭賞新人賞の評価を受け、文部科学大臣賞をいただくことになりました。歴史ある大きな賞をいただけることは大変光栄で、身の引き締まる思いです。これまで活動を応援して下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、今回の受賞を励みに今後も活動を続けていきたいと思っています。



上/文化庁芸術祭賞贈呈式にて受賞者の皆様と写真提供:文化庁
下/文化庁芸術祭賞贈呈式にて写真提供:文化庁

ロームシアター京都 ミュージックサロン

ロームシアター京都の開館と同日である2016年1月10日にオープンしたミュージックサロン。音楽とさまざまな形で触れ合うことができる施設として各種イベントを開催し、これまでに多くのお客様にご来場いただいています。



©上田祐勢

■「ミュージックサロン」施設概要

場 所：ロームシアター京都 パークプラザ3階東側
面 積：約96㎡
定 休 日：臨時休館日を除き年中無休
営 業 時 間：10:00～19:00

利 用 料 等：無料、原則出入り自由(一部整理券が必要な場合あり)
主 要 設 備：7.1chサラウンドシステム、120インチスクリーンプロジェクター、演奏スペースなど
主 な 開 催 内 容：オペラやオーケストラなどの映像・音源の放映、イベント(コンサート、セミナー、資料展示等)の開催

ミュージックサロン スケジュール

期 間		内 容
2017.6/1～6/30	上映会	舞曲でめぐるヴァイオリンの魅力 オン ザ・スクリーン
7/1～7/31	上映会	トランペットの魅力、再発見! オン ザ・スクリーン
7/30	イベント	トーク&コンサート ヴィオラってどんな楽器?
8/1～9/9	上映会	スカラシップ コンサート オン ザ・スクリーン
9/10	イベント	トーク&コンサート クラリネットをあなたに～モーツァルトからガーシュインまで～
9/12～11/30	展示会	オペラの扉2017～KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION～
12/2～12/9	上映会	荘厳に艶めくオールドチェロ オン ザ・スクリーン
12/10	イベント	トーク&コンサート トロンボーン quartetの世界～調和の妙味～
12/11～12/20	上映会	フルートで紡ぐ愛のメロディー オン ザ・スクリーン
12/21～12/29	上映会	打楽器には感情がある!? オン ザ・スクリーン
2018.1/2～1/12	上映会	朝岡 聡がひもとく“オペラの謎” オン ザ・スクリーン
1/13	イベント	トーク&コンサート 歌うコントラバス
1/14～1/21	イベント	文化庁メディア芸術祭 京都展「ゴースト」
1/23～3/31	展示会	小澤征爾音楽塾展
2/17	イベント	小澤征爾音楽塾展コンサート Vol.1《打楽器編》
3/10	イベント	小澤征爾音楽塾展コンサート Vol.2《クラリネット編》
3/11	イベント	小澤征爾音楽塾展コンサート Vol.3《ヴァイオリン編》
3/21	イベント	トーク&コンサート 魂の楽器ホルン～世界一難しいと言われる金管楽器～

2017.9/12～11/30 オペラの扉2017 ～KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION～

新国立劇場が「ひとりでも多くの高校生にオペラを知っていただきたい」との思いで1998年から実施している「高校生のためのオペラ鑑賞教室」。

2017年にロームシアター京都で開催されるのに合わせ、「オペラの扉～KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION～」を開催しました。

オペラをつくる過程や実際に新国立劇場で使用している衣装や舞台模型、舞台写真などを展示。多くの方に ご来場いただき、オペラについて知っていただきました。



2018.1/23～3/31 小澤征爾音楽塾展

世界的指揮者である小澤征爾さんの熱い思いから始まった若手音楽家の育成プロジェクト、小澤征爾音楽塾。

小澤さん直筆の書き込み入りの楽譜や、過去の公演で使用された舞台衣装や舞台模型、過去のポスター・プログラムなどを集め、その貴重な資料を公開、多くのお客様にご来場いただきました。



2017.7/30

トーク&コンサート

ヴィオラってどんな楽器？

オーケストラなどで内声部を支える、なくてはならない存在の「ヴィオラ」。

そんなヴィオラの魅力を、オーケストラや室内楽などで多岐に渡り活躍する、ヴィオラ奏者・金本洋子さんとピアニスト・佐竹裕介さんに、演奏とお話を交えてご紹介いただきました。



2017.9/10

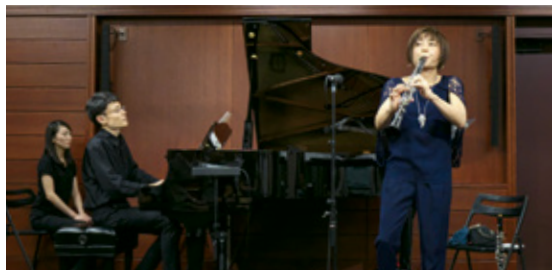
トーク&コンサート

クラリネットをあなたに

～モーツァルトからガーシュインまで～

オーケストラや室内楽で活躍する木管楽器「クラリネット」。

ソロや室内楽など多方面で活躍する、クラリネット奏者・小谷口直子さんとピアニスト・佐竹裕介さんに、クラリネットの魅力を演奏とお話を交えてご紹介いただきました。



2017.12/10

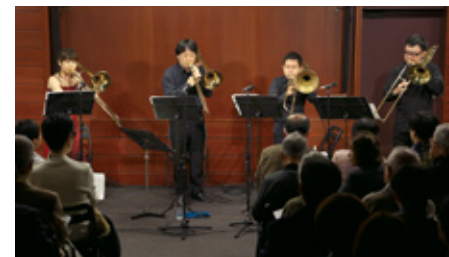
トーク&コンサート

トロンボーンファルテットの世界

～調和の妙味～

オーケストラだけでなく、吹奏楽でも活躍する金管楽器「トロンボーン」。

この日はトロンボーンの魅力が最大限発揮されるファルテット(4人)編成で、トロンボーンの世界を演奏とお話を交えてご紹介いただきました。



2018.1/13

トーク&コンサート

歌うコントラバス

名前は知っているけれど、注目されることの少ない「コントラバス」。

室内楽、オーケストラなど多岐に渡り活躍する、コントラバス奏者・佐野央子さんに、緑の下の力持ち「コントラバス」の魅力を演奏とお話を交えてご紹介いただきました。



最新のイベント情報や展示内容は、ROOM ミュージック ファンデーションのウェブサイトよりご覧いただけます。

奨学生一覧

(各分野五十音順)

ヴァイオリン/97人

青木 尚佳
 青谷 友香里
 アシュリー マリア アヤ
 東 珠子
 荒井 優利奈
 安彦 千恵
 伊賀 あや
 石橋 幸子
 泉原 隆志
 磯 絵里子
 糸井 真紀
 伊藤 文乃
 井上 奈央子
 植村 太郎
 植村 菜穂
 植村 理葉
 牛草 春
 エリック・シューマン
 尾池 亜美
 王 中男
 大江 馨
 大岡 仁
 大島 莉紗
 大谷 玲子
 岡崎 慶輔
 岡本 誠司
 小川 恭子
 小野 明子
 榎本 大進
 加野 景子
 神尾 真由子
 神谷 未穂
 川村 奈菜
 木嶋 真優
 岸本 萌乃加
 北川 千紗
 木村 悦子
 清永 あや
 日下 紗矢子
 倉富 亮太
 黒川 侑
 郷古 廉
 小林 竜成
 小林 美緒
 小林 美樹
 佐橋 まどか
 佐藤 久成
 志満 直美

島田 真千子

島原 早恵
 清水 有紀
 白井 麻友
 菅井 京子
 鈴木 愛理
 鈴木 舞
 周防 亮介
 滝 千春
 瀧村 依里
 田島 悠子
 立上 舞
 田中 晶子
 田中 晶子
 谷本 華子
 玉井 菜採
 千葉 水晶
 辻 彩奈
 坪井 夏美
 長尾 春花
 中島 勇
 成田 達輝
 西川 茉莉奈
 西澤 和江
 二瓶 真悠
 林 悠介
 原 麻里亜
 原田 亮子
 福田 廉之介
 藤江 扶紀
 前田 志乃
 正戸 里佳
 松川 暉
 松田 理奈
 三上 亮
 村田 美英
 毛利 文香
 守屋 剛志
 森山 まひる
 安田 理沙
 矢野 玲子
 山根 一仁
 梁 美沙
 弓 新
 湯本 亜美
 吉江 美桜
 吉田 南
 米元 響子
 渡邊 ゆづき

ヴィオラ/12人

赤坂 智子
 大野 若菜
 金丸 葉子
 坂口 翼
 杉田 恵理
 瀧本 麻衣子
 田原 綾子
 中島 悦子
 原 麻理子
 牧野 葵美
 山崎 智子
 渡邊 千春
 チェロ/35人
 伊東 裕
 伊藤 悠貴
 上野 通明
 上村 文乃
 植村 葉夏
 江口 心一
 遠藤 真理
 岡本 侑也
 奥田 なな子
 加藤 文枝
 門脇 大樹
 唐沢 安岐奈
 熊澤 雅樹
 佐々木 蘭望
 笹沼 樹
 佐藤 晴真
 高木 慶太
 辻本 玲
 中木 健二
 長谷川 彰子
 林 裕
 平野 朝水
 藤井 泉
 藤原 秀章
 堀江 牧生
 松山 翔子
 マーク・シューマン
 水野 優也
 三井 静
 峰本 更
 宮田 大
 山上 ジョアン 薫
 山本 徹
 横坂 源
 渡邊 方子

クラシックギター/3人

谷辺 昌央
 藤元 高輝
 松本 大樹
 ヴィオラ・ダ・ガバン/1人
 酒井 淳
 フルート/17人
 阿部 礼奈
 井坂 実樹
 若瀬 桐子
 上野 星矢
 大久保 彩子
 久保 順
 倉田 優
 小山 裕幾
 庄田 奏美
 中村 薫
 萩原 貴子
 藤井 香織
 本宮 湖心
 増本 竜士
 森岡 有裕子
 若林 かをり
 渡邊 玲奈
 オーボエ/4人
 荒 絵理子
 岡山 理絵
 田代 奏子
 本多 啓佑
 クラリネット/10人
 梅原 希枝
 金子 平
 小林 知世
 小山 洋子
 白子 正樹
 辻本 聡子
 中川 知美
 原田 綾子
 福田 さあや
 吉田 誠
 サクソフォン/2人
 住谷 美帆
 中島 諒
 ファゴット/3人
 小山 莉絵
 中野 陽一朗
 藤村 踊子

トランペット/2人

菊本 和昭
 佐藤 友紀
 トロンボーン/2人
 清水 真弓
 山本 浩一郎
 ユーフォニウム/1人
 安東 京平
 打楽器/5人
 池上 英樹
 岩見 玲奈
 沓野 勢津子
 通崎 睦美
 福山 直子
 ハープ/5人
 景山 梨乃
 シュレイファー 弓子
 高野 麗音
 林 千佳世
 福井 麻衣
 パイプオルガン/1人
 椎名 雄一郎
 チェンバロ/2人
 北御門 はる
 脇田 英里子
 ピアノ/123人
 浅野 未麗
 有吉 亮治
 石井 楓子
 石川 武蔵
 石田 啓明
 石村 純
 乾 絵美
 今井 彩子
 今田 篤
 入江 一雄
 岩本 恵理
 梅村 知世
 江澤 茂敏
 江尻 南美
 岡田 奏
 大井 浩明
 大崎 結真
 関本 昌平
 岡本 麻子

奥田 晓仁
 奥村 友美
 小沢 麻由子
 越知 晴子
 海瀬 京子
 梯 剛之
 柏原 佳奈
 加藤 大樹
 加藤 洋之
 加野 瑞夏
 神野 千恵
 河内 仁志
 川崎 翔子
 川島 基
 川田 健太郎
 河村 尚子
 菊地 裕介
 菊池 洋子
 喜多 宏丞
 清塚 信也
 日下 知奈
 工藤 奈帆美
 久保 千尋
 倉澤 杏菜
 黒岩 航紀
 黒田 哲平
 高 実希子
 壽 千明
 小林 愛実
 小林 有沙
 小林 海都
 齊藤 一也
 坂本 真由美
 崎谷 明弘
 佐々木 宏子
 佐竹 裕介
 佐藤 卓史
 佐藤 彦大
 佐藤 麻理
 佐野 まり子
 紫垣 英二
 志鷹 美紗
 釈迦部 洋介
 白川 多紀
 菅野 雅紀
 鈴木 謙一郎
 住友 郁治
 関本 昌平
 芹澤 佳司

反田 恭平
 高田 匡隆
 高橋 礼恵
 内匠 慧
 田中 香織
 田中正也
 田村 響
 津嶋 啓一
 津田 裕也
 鶴見 彩
 土居 知子
 中尾 純
 中桐 望
 中島 彩
 長瀬 賢弘
 中元 千鶴
 奈良 希愛
 新美 光映
 沼澤 淑音
 萩原 麻木
 橋本 尚
 服部 慶子
 花岡 克典
 浜野 与志男
 林田 麻紀
 日高 志野
 平松 悠步
 福田 和子
 真隅 政大
 松尾 久美
 松岡 淳
 松本 和将
 丸山 耕路
 丸山 瓜乃
 萬谷 衣里
 Elezovic MIA
 三浦 友理枝
 三戸 あけみ
 三宅 麻美
 宮下 彩子
 宮田 理生
 務川 慧悟
 村田 理夏子
 村松 珠美
 森田 義史
 矢島 愛子
 山田 剛史
 山本 亜希子
 吉兼 加奈子

ティーン 吉川 右希子
 吉田 友昭
 吉武 優
 米津 真浩
 李 早恵
 脇岡 洋平
 オルガン/2人
 福本 茉莉
 宗 かおり
 声楽/57人
 石井 教子
 市原 愛
 乾 麻里子
 上杉 清仁
 江口 輝博
 大島 京子
 岡田 昌子
 加藤 史幸
 加藤 麻衣
 川島 幸子
 川原 成子
 木下 周子
 木下 美穂子
 木村 善明
 木村 里花子
 蔵田 みどり
 小玉 晃
 小林 沙羅
 近藤 圭
 崔 宗宝
 坂本 知亜紀
 志摩 大喜
 清水 俊徳
 周 江平
 杉原 かおり
 鈴木 愛美
 田邊 織恵
 谷口 伸
 谷村 由美子
 田村 麻子
 趙 非
 津國 直樹
 辻 裕久
 寺田 功治
 田 大成
 富岡 明子
 中川 恵美里

中島 康晴
 嶋海 真希子
 林 佑子
 深瀬 廉
 藤木 大地
 藤谷 佳奈枝
 本田 智衣
 又吉 秀樹
 松原 友
 真野 路津紀
 溝淵 悠理
 峯島 望美
 宮里 直樹
 森野 美咲
 山下 新吾
 山本 美央
 吉澤 淳
 吉田 貴子
 監 野流
 李 恩敬
 指揮/21人
 粟辻 聡
 石川 星太郎
 伊藤 翔
 垣内 悠希
 川本 貢司
 岸本 有理
 鬼原 良尚
 齊藤 一郎
 阪部 慎太郎
 篠崎 靖男
 下野 竜也
 杉本 優
 橘 直貴
 寺岡 清高
 阪 哲朗
 三ツ橋 敬子
 村上 寿昭
 村中 大祐
 森 香織
 森口 真司
 森田 宏樹
 作曲/19人
 阿部 俊祐
 稲森 安太己
 今井 智景

北爪 裕道
 木下 正道
 小出 稚子
 酒井 健治
 坂田 直樹
 塚本 瑛子
 中川 佐織
 夏田 昌和
 朴 炳五
 松宮 圭太
 松本 直祐樹
 ママトウメル
 山口 紘
 李 大軍
 渡邊 愛
 渡辺 裕紀子
 教会音楽/1人
 小山田 薫
 音楽学/15人
 金 士友
 貞方 マキ子
 周 耘
 白石 悠里子
 関本 菜穂子
 園田 みどり
 高野 裕子
 戸祭 哲子
 中村 伸子
 西村 理
 畑野 小百合
 早坂 牧子
 丸山 瑠子
 村田 圭代
 李 金叶
 オペラ演出/4人
 井原 広樹
 郭 才銀
 馬 金泉
 森岡 純子

計 444人
 (2018年3月現在)



ローム ミュージック フレンズ No.6

—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—

発行 2018年3月

企画・発行：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

〒615-0044 京都市右京区西院西中水町1

TEL (075) 311-7710 FAX (075) 311-0089

<http://www.rohm.co.jp/rmf>

協 賛： **ローム株式会社**

この情報誌に掲載の写真・文章の無断転載を禁じます。

